

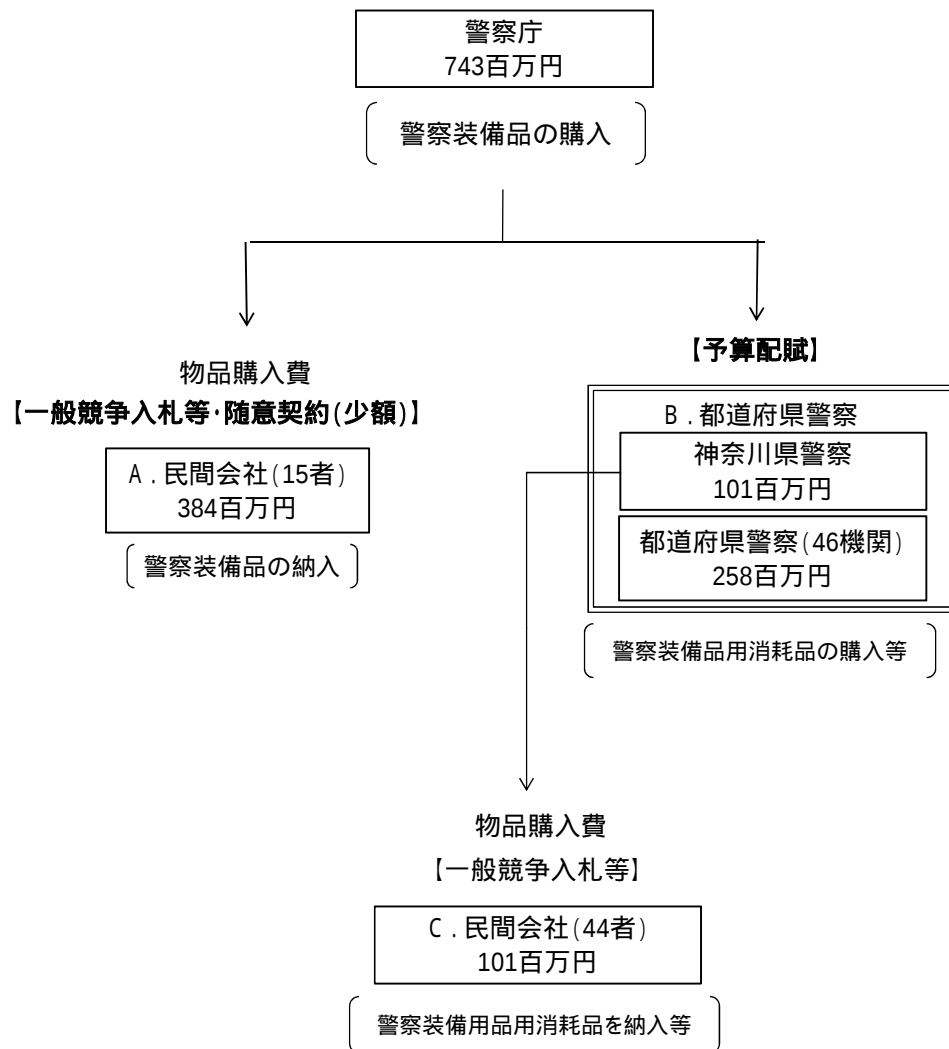
平成23年行政事業レビューシート

(警察庁)

事業名	捜査装備品の整備	担当部局庁	長官官房	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	-	担当課室	会計課装備室	装備室長 家永 宏之				
会計区分	一般会計	施策名	複数政策(1～7)					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	警察法第37条第1項第6号 警察法施行令第2条第6号	関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	厳しい治安情勢の下、警察活動の基盤となる警察装備品を国が整備し、これを有効に活用することで全国的に一定水準の警察活動を確保する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	振り込み詐欺に見られるような新しい犯罪グループの出現、来日外国人犯罪組織や暴力団等による組織的犯罪の潜行化、IT社会の急速な発展によるサイバー犯罪の増大、更には銃器使用殺傷事件のような凶悪犯罪の発生等に迅速かつ的確に対応し、国民生活の安全と安心を確保する必要があることから、各種捜査装備品の整備を図る。							
実施方法	■直接実施 □業務委託等 □補助 □貸付 □その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	1,983	758	823	502	800	
		補正予算	421	2,815	366	7		
		繰越し等	0	0	247	247		
		計	2,404	3,573	942	756	800	
	執行額		1,780	3,169	743			
	執行率(%)		74%	89%	79%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	(成果目標) 警察活動に必要な捜査装備品の整備 (参考指標) 刑法犯検挙件数		成果実績 検挙件数 (暦年)		573,392	544,699	497,356	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	整備した捜査装備品の種類		活動実績 (当初見込み)	種類	28	49	27 (27)	- (15)
単位当たりコスト	742,825千円/年		算出根拠	年間執行額				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	物品購入費	502	800	平成23年度当初予算要求分の一部が平成22年度補正予算により容認(前倒し)されたため、平成24年度要求分が増加したもの。 なお、平成24年度概算要求を行うに当たって、整備計画の延伸による調達数の見直しや要求単価に前年度実績単価を反映させることにより、要求額の削減を図った。				
	計	502	800	東日本大震災復興関連事業(26百万円)				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・ 状況・ 予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 使途、 費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 捜査装備品は、警察庁において一括調達しているので、支出先については把握している。 また、都道府県警察に予算配賦しているものについては、都道府県警察から執行状況の報告を受けているので、支出先については把握している。		
	2 見直しの余地 捜査装備品は、組織犯罪や特殊事件等が発生した際の捜査活動を行う上で必要不可欠なものであることから、引き続き老朽化した捜査装備品の更新や、治安情勢に応じた充実強化を図る必要がある。 また、調達する際には、契約案件の都度、仕様の検討を行うとともに、過去の調達実績や市場の状況等を予定価格に反映させているところである。さらに、競争性、経済性、透明性を高めるため、警察庁において一括調達するといった取組を行っており、今後も効率的な予算執行に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	1	支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。	
	2	改善策の内容及び横断的見直しの状況に関する所見 平成24年度予算概算要求に当たり、実績単価の反映、性能の見直し、調達数の見直し等を実施し、予算の削減に努めること。	
	3	レビューシートのわかりやすさに関する所見 おおむねわかりやすい。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
平成24年度概算要求を行うに当たって、整備計画の延伸による調達数の見直しや要求単価に前年度実績単価を反映させることにより、要求額の削減を図った(削減額:43百万円)。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
特になし			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について記載する。費 目と使途の双方で実情が分かる ように記載)	A.日本電子サービス株式会社			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	物品購入費	事件情報内偵システム等の購入	31			
	計		31	計		0
	B.神奈川			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	予算配賦	捜査装備品用消耗品の購入等	101			
	計		101	計		0
	C.株式会社ポータ工業			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	物品購入費	車載用広報板外の購入	59			
	計		59	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本電子サービス株式会社	事件情報内偵システムの購入	31	6	
2	興研株式会社	防護マスク用吸収缶の購入	30	1	
3	株式会社ケルク電子システム	デジタルカメラ(メモリー付き)の購入	29	5	
4	オムロン株式会社	画像照合用資機材 型の購入	23	2	
5	三菱重工株式会社	可搬式高性能監視カメラの購入	17	2	
6	加賀ソルネット株式会社	ファイバースコープの購入	10	2	
7	ソニックガード株式会社	警戒システムの購入	7	2	
8	帝商株式会社	地中用金属探知機の購入	3	1	
9	日本特装株式会社	高圧消火発射装置	3	3	
10	櫻護謄株式会社	難燃活動服の購入	2	2	

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	神奈川県警察	予算配賦	101		
2	福井県警察	予算配賦	40		
3	警視庁	予算配賦	32		
4	大分県警察	予算配賦	17		
5	沖縄県警察	予算配賦	15		
6	群馬県警察	予算配賦	12		
7	岡山県警察	予算配賦	9		
8	埼玉県警察	予算配賦	8		
9	福岡県警察	予算配賦	8		
10	大阪府警察	予算配賦	8		

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社ポータ工業	車載用広報板外の購入	59	1	
2	グランド印刷株式会社	交通規制案内看板外の購入	10	2	
3	株式会社山村商店	綿手袋外の購入	5	1	
4	有限会社ハマ商事	レフランプ外の購入ほか	4	4	
5	株式会社トシダ	のり外の購入	2	3	
6	ゴールデン文具株式会社	乾電池外の購入	2	2	
7	株式会社アイ・ピー・シー	LED識別確認装置の購入	2	2	
8	日生商工株式会社	ミニLEDライト外の購入	2	2	
9	株式会社精美堂	交通規制案内横断幕外の購入	2	2	
10	エビナ文具	ドッチファイル外の購入	2	2	

捜査装備品の整備

犯罪のグローバル化対策の強化に必要な
装備資機材の減耗更新及び増強整備を行うもの

銃器使用犯罪対策用資機材



突入及び制圧訓練状況

組織犯罪対策用資機材



視察用資機材



搜索活動用資機材